

トップレベルの健全性で皆さまの信頼にお応えします。

ソルベンシー・マージン比率

十分な支払余力を堅持!

609.4%

ソルベンシー・マージン比率とは、通常の予測を超えて発生するリスクに対応できる「支払余力」を有しているかを判断するための指標です。当社は平成13年度末で609.4%と十分な支払余力を堅持しています。

基礎利益

高い収益性を確保!

2,586億円

基礎利益とは、生命保険会社のフローの収益力を示す指標のひとつで、保険本業の期間収益の状況をあらわします。当社は平成13年度で2,586億円と高い収益性を確保しています。

実質純資産額

十分な純資産を確保!

1兆6,283億円

実質純資産額とは、時価評価した資産から、ご契約に関わる各種負債等を差し引いた、いわゆる時価ベースの純資産額です。当社は平成13年度末で1兆6,283億円、総資産に対する比率が9.5%と十分な水準を確保しています。

リスク管理債権

厳格な自己査定を実施!

0.57%

(リスク管理債権額の貸付残高に対する比率)

リスク管理債権とは、貸付金のうち、返済状況が正常でない債権を「破綻先債権」「延滞債権」「3ヵ月以上延滞債権」「貸付条件緩和債権」の4つに区分した総称です。当社の平成13年度末のリスク管理債権額は290億円、貸付残高に対する比率は0.57%ときわめて低い水準にとどまっています。

資産全体の含み益
(一般勘定)

堅実な資産内容を保持!

7,701億円

(一般勘定資産全体の含み損益相当額)

資産全体の含み益とは、時価と帳簿価額(取得価額等)との差額を指し、保険会社の企業体力をあらわすもののひとつです。当社の平成13年度末の一般勘定資産全体の含み損益相当額は7,701億円となっています。

当社の格付
(平成14年4月末時点)

A+

(株)日本格付研究所
保険金支払能力格付

A

スタンダード&プアーズ(S&P)
保険財務力格付

A+

AMベスト社
保険財務力格付

※保険金支払能力格付は、保険金支払債務を契約どおり支払うことができる能力を評価したものです。保険財務力格付は、保険契約の諸条件に従い保険金を支払う能力に関し、保険会社の財務内容について評価したものです。

※上記の格付は、当社が依頼して取得したものです。

※格付は、個別の保険契約の加入・解約・継続を推薦するものではありません。

※格付は、上記時点での格付会社の意見であり、将来的に変更・保留・撤回されることがあります。

保有契約高 純増加!!

平成13年度末の保有契約高(個人保険・個人年金保険・団体保険の合計)は175兆1,278億円で、前年度末から1兆4,183億円増加しました。